

研修レポート

名古屋第一赤十字病院 初期臨床研修医 1年目

新城市民病院での研修を経験し気付いたことは、地域医療で必要とされている「医療」とは、多くの意味を含んでいるということでした。疾患の治療という行為1つ例に挙げても、疾病を治すことがすべてではなく、家で暮らすことなど、患者さんが望む「生活」を出来るようにしてあげることが最終目標であるであると実感させられました。患者さんの背景や家の環境を理解し、どのようなリハビリをすれば、家で暮らすことができ、その中でどのような介護サービスや医療を受けられるのかなど、考えるべき事がたくさんありました。そのことを研修医1年目で知ることができとても感謝しています。この先医療を行って行く上で、患者さんへの向き合い方、problemの上げ方、コ・メディカルの方々との連絡の仕方など、いろんなことに意識していきたいと思います。

また医学的知識に関しても、学ぶことがたくさんありました。まず一番感銘を受けたのは、日々の勉強の姿勢です。最新かつ正確な医学知識を日々積み重ねている先生方の姿にとっても憧れを抱き、自分も近付きたいと心から思いました。日々の振り返りでは、外来診察での自分の問診、診察、診断までのプロセスの改善点を指摘してもらい、次につながる知識の定着を促して頂きました。また、地域医療において、総合診療科が果たすところは大きく、自分の知識の至らないところをたくさん自覚することができ、日々研鑽をかさね、知識を増やし、また正確に使っていききたいと思います。

朝の勉強会のスライド作成では、診察の中で疑問に思ったテーマに挑戦し、とても勉強になりました。またUp to Date勉強会は、Up to Dateをどう使ったら知識を得られるのか知る、いい機会になりました。EBM勉強会で教えていただいた論文の解釈方法は、これから医師として働き続けるかぎり、生まれ続ける疑問や本当にこの治療が最善であるかという不安に立ち向かっていく、心強い武器となりました。新城市民病院での研修を終えてからも続けていこうと思います。

最後になりましたが、総合診療科の先生方、看護師さん、リハビリスタッフの方々、MSWさん、訪問看護やサマリヤの丘のスタッフ、助産所の皆様には大変お世話になりました。今回の経験を必ずこれからの研修に役立てていきます。4週間本当にありがとうございました。